

高退互広報

退職会員配布

第110号

令和7年12月10日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49番10号 愛知県教育会館5F TEL (052) 261-2248

*ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> FAX (052) 241-0318



ホームページは「高退互」で検索してください。愛知県退職教職員互助会は小・中学校の互助会ですのでご注意ください。

大切な情報や事務局からのお願いを掲載しています。最後までお読みください。

第272回 理事会

第272回理事会が11月25日
(火)に開催されましたので
概要を報告いたします。

- ★ 給付率は従来通り、出資金額の変更なし
- ★ 第11回及び第12回制度・財政検討委員会の報告

第272回理事会では、事務局からの令和7年度の間接事業報告、中間決算報告、資産運用中間報告が行われました。また、10月24日に開催された第12回制度・財政検討委員会での意見も踏まえ、令和8年度の療養補助金の給付率及び出資金（60歳退職時89万円）については変更しないこと、令和7年度の現職会員の積立利率を0.2%（税引き後）とすることが承認されました。

第11回及び第12回制度・財政検討委員会の報告

本会は退職会員に「一生涯医療費の心配をさせない」ことを目的としています。しかし、医療制度改正や医療の高度化等による高齢者の自己負担増で本会の補助額も増加しています。例えば75歳以上の自己負担2割化完全実施で計算上では年約5千万円の補助額増となります。さらに物価高、賃金上昇等で経費も増加傾向にあり、高齢者への医療費負担をさらに増やす動きもあります。今年度の制度・財政検討委員会では本会の将来を見通して安定的に運営するため、理事長の諮問を受けて制度全般にわたって見直しを進めています。

第11回制度・財政検討委員会（9月12日開催）

令和7年度諮問事項の検討に向けて、本会の財政状況について令和7年度から令和20年度までの収支と資産の推移の試算をもとに議論しました。

- ・定年延長制度実施による隔年での移行金の激減、責任準備金取り崩しにともなう運用債券の現金化による運用益減少等の要因で収入は減少している。
- ・療養補助給付や人件費などの支出は年々増加。75歳以上の自己負担2割化の激変緩和措置が9月末で終了することでさらなる支出増が想定される。
- ・正味財産が急速に減少しており、現行制度のまま推移すれば令和10年度には実施を義務づけられている公益目的事業に必要な財産額を下回り、責任準備金確保が困難になる。

その後の議論では今後の安定的な運営のため年間8千万円超の支出削減が必要とされ、第12回制度・財政検討委員会から諮問事項について個別に検討することになりました。